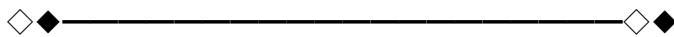


ハ | ー | ト | ・ | プ | ラ | ス | 通 | 信 | No. 17

晩秋の候、朝夕寒冷を覚える季節となりました。

日頃はハート・プラスの会にご協力ご支援をいただきありがとうございます。



### ☆平成21年度社員総会開催☆

平成22年10月10日(日)

(場所：ハートピア京都(京都府総合社会福祉会館)会議室 10:00～)

滞りなく終える事が出来ました。(出席者17名 表決委任者41名)

お忙しい中、遠方からもご出席いただきありがとうございました。

### ☆活動報告

☆☆☆

ハート・プラスコンサート in 京都 ～心に夢と笑顔と元気を～

☆☆☆

(場所：ハートピア京都(京都府総合社会福祉会館)大会議室 15:00～)

約150名の方にご来場頂き開催致しました。

セラピアニスト保恵さんと京都ポップスオーケストラ有志の方々でのとても美しい演奏の中で、ゆったりと過ごせた約1時間半でした。今回と次の新年号2回に渡り、参加された会員さんからのご感想をご紹介します。



∞∞∞∞ 小林由紀子さんより ∞∞∞∞

「参加してよかったあ！」それが素直な感想です。

私は前日から京都に行ったのですが、とてもとても素敵な時間を過ごすことができました。

ハート・プラスの方達にお会いするのはほとんど初めてで、ちょっぴり緊張してただけど、本当にみんな親切で優しく楽しい！やはり私の体のことも分かってくれて、とても自分らしく、楽にいれることができました。コンサートはとても綺麗な声だったし、歌の歌詞も素敵でした。途中で退席したので、最後まで聞けなかったのが残念でしたが、この場を借りて、私に会ってくれたすべての方たちに感謝します。

∞∞∞∞ 中村 靖則さんより ∞∞∞∞

京都新聞にも取り上げられ沢山の方々に参加を頂き盛大に行う事が出来ました。  
生管楽器演奏+生弦楽器演奏から始まりセラピアニストの保恵さんの弾き語り、心に染み渡るコンサートだったと思います。

セラピアニスト保恵さん(<http://blogs.yahoo.co.jp/yasuepiano>)

ご自身でも心臓病を抱えながらも前向きに生きる姿、そして皆に明るさと夢と希望を分け与える音楽。私は初めて聞きましたが大ファンになりました。病気を持っていても希望は絶対に捨てない、明日に向かって明るく生きる・・・大切な言葉です。

私もよく使いますが「いい加減は良い加減」投げやりになるのでなく程良く行う事が大事。そして「病気になった事が不幸ではなく病気に負ける事が不幸なのです」良い言葉だと思います。私も初めは負けそうになりました、多分多くの方がそうだと思います。

でも毎朝起きるじゃないですか1日何もしなくても楽しければそれで生きている事が実感できると思います。一時期、私は自殺するのなら「その命私に下さい」そんな事も言った事があります。でも保恵さんの歌と話を聞いて「明日があるさ」「振り向いても其処に残っているのは足跡だけ」と感じました。だったら前を見てより良くなる様に努力する、結果は後から付いて来ても良いし例え駄目でも良いと思う。

活動したり自分で出来る事を少しずつでもしていく事が生きる証だと思います。

そして「勝つ事を選んだ人が必ず勝」もっともな言葉ですが中々実践できない事です。

かく言う私も自信が無い時等は勝ちたいけどと悩んでしまいます。

「朝目が覚めて感謝・1日楽しく過ごす事が出来て感謝・夜眠りにつけて感謝」です。これからも希望を胸に楽しく明るく毎日を過ごしたいと思います。

☆～～～参加された皆さんからの感想は、まだまだ次号に続きます～～～☆

☆☆☆

ウォーク&ランフェスタ ～め・ぐ・り・あ・い～

☆☆☆

2010年9月11日に、難病支援のイベント、ウォーク&ランフェスタ2010に参加しました。東京の調布の味の素スタジアムで開催され、ハートプラスの会として4名参加しました。会場の入り口で、内部障害者へ、ハートプラスマークを配布、100枚配布しました。一般参加者は、3200名。ボランティアは、700名。出演者は、100名の参加でした。700名のボランティアの方々に、事前にハートプラスマークと内部障害者を説明しました。

今回、ウォーキング&ランフェスタの最高の賞である「チャーミング賞」にハートプラスの会の村主正枝さんを推薦し、みごと受賞しました。チャーミング賞とは、難病や障害を持ちながら、他の患者さんに元気を与える活動をしている人を称える賞です。

村主正枝さんは、2010年7月27日に亡くなられましたので、受賞式には、正枝さんのお母さんが出席されました。お母さんは、正枝さんの写真を持参され、正枝さんと一緒に受賞されました。

吉野 昇



◆訃報◆

当会の理事として活動されていた村主正枝さんが、去る7月27日、ご逝去されました。享年36歳でした。

ふっくらとした面立ち、キラキラとして、それでいて知性的な瞳が印象的な方でしたが、ご自身も肺高血圧症と膠原病と闘う気丈な女性でした。

活動の一環として早くから東京都中央区「健康福祉まつり」に参加し、都内の国会議員にも積極的に働き掛け、NPO法人発足時から理事として会を支えてこられました。

また行政だけでなく、ラジオや新聞、ご自身の半生を原作に女性漫画に取り上げられるなどマスメディアを通じて、内部障害者の苦しい実情を広く社会に訴えかけていた彼女。

「まちゃさん」。のニックネームで呼ばれ親しまれてきた彼女は、ジャニーズの大ファンであり愛犬「嵐」を愛するごく普通の女性の一面を持ちながらも「内部障害」について真摯に向き合い、私たちにとっては、とても大切な、大きな存在であったと思います。

今はもう生前の闘病との苦しみや悲しみのすべてから解放され、優しく私たちを見守って下さっている事と思います。

心より、ご冥福をお祈り致します。

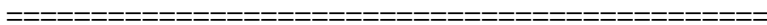


【ご寄附御礼】

4月～9月まで、39,000円のご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【お知らせ】

皆様から寄せられた各地のハート・プラスマークの写真を掲載している当会のホームページ内『街の中のマーク』のページを更新しました。



【配信元】～内部障害者・内臓疾患者の暮らしについて考える～

特定非営利活動法人ハート・プラスの会

【連絡先】 事務局 info@heartplus.org

FAX 052-711-0180

会員数 126名 (H22.10.25) 内正会員 90名・協力会員 36名